



林 声



お か や ま
No. 391. 2007. 1. 1



弥高山雲海（高梁市）

目 次

○新年のごあいさつ	2
○おかやま森づくり県民税事業 の取組状況について	3
○普及情報	4
○普及指導最前線	5

○木材の利用促進	6
○地域でがんばっている人	6
○研究だより	7
○お知らせ	8
○林産物市況	10

新年のごあいさつ



岡山県林業
改良普及協会
会長
井手 紘一郎

新年あけましておめでとうございます。
います。

二〇〇七年の新年を迎え、会員の皆様に新年のごあいさつを申し上げます。

さて、森林・林業を取り巻く環境は、木材価格の低迷などにより依然厳しい状況ですが、一方で、森林の持つ水源のかん養などの多面的機能や、地球規模での温暖化防止に果たす役割が注目され、森林に対する人々の期待が高まっております、改めて森林の重要性が見直されております。

こうした中、国においては昨年九月に閣議決定された新しい森林・林業基本計画において、人工林の広葉樹林化や針広混交林への誘導、伐期の長期化といった多様

な森林整備を進めるとともに、効率的に作業するための路網の整備や、高性能林業機械の導入による木材生産の低コスト化を図るため、各種施策を推進することとされております。

県では、平成十六年度に創設した「おかやま森づくり県民税」を活用し、森林の持つ公益的機能を高める森づくり、担い手の育成確保と木材の利用促進、森林林業情報提供と森づくり活動の推進について、県民と一体となった森林の保全施策に積極的に取り組まれております。

また、平成十六年十月の台風二十三号による風倒木被害は森林所有者の皆様方には大きな打撃でありましたが、倒木の伐採、搬出、造林等、復旧支援対策が講じられており、被害面積五、五〇〇ヘクタールのうち、今年度中に復旧計画面積の約七割を復旧できる見込みとなり、風倒木の利用も林道法面の丸太伏工等、公共事業を中心に積極的な利用が進められています。

一方、県下の森林の状況を見ますと、県内には、先人が営々とし

て築きあげてきた十七万三千ヘクタールの人工林がありますが、戦後植えられたスギ・ヒノキが成熟し、伐期を迎えようとしています。

この豊かな森林資源を有効に活用して、適切な森林整備を行うことで、林業の活性化を図りながら、よりよい姿で次の世代に引き継いでいくことが、私たちの責務であると考えております。

このためには、地域が一体となった森林の整備・保全を促進する必要がありますが、当普及協会といたしましても、林業関係者の森林づくりへの意欲が一層促進され、産業としての林業が活力を取り戻すため、林業普及指導事業と密接な連携を図りながら、林業技術の普及、後継者の育成、地域林業の振興などの一翼を担ってまいり所存であります。

会員の皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、それぞれの分野でますますご活躍されることをお祈り申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

コマツのグラップルレンタル機ラインナップ



ベースマシン	PC45MR-1	PC78US-5	PC138US-2
機械質量	4.9ト	7.4ト	13.9ト
接地幅	1,960mm	2,320mm	2,490mm
グラップルメーカー	コマツ	イワフジ	松本システム
型式	LH03-3E	GS65LHV	MSE45LGS
最大開口幅	1,185mm	1,620mm	1,910mm
最小掴み径	105mm	95mm	80mm
ウインチ	有	無	無

〒708-0014 岡山県津山市院庄921-1
コマツ中国(株)津山営業所
TEL (0868) 28-2261



林業の機械化に取り組むコマツはグラップルのレンタルも各種取り揃え対応いたします。☑
1日からでもお気軽にご利用下さい。☑

KOMATSU

おかやま森づくり県民税 事業の取組状況について

今回は特に重要な森林の公的整備による「水源の森整備事業」県民の直接参加によるゆめ・みらい・

おかやまの森づくり推進事業及び木材の良さを実感してもらい、県産材の利用促進と需要拡大を図るための「木とふれあう環境づくり推進事業」について紹介します。

1 水源の森整備事業

大面積にわたる集团的伐採を回避することを目的として、県立森林公園に隣接する特に重要な公益的機能を有する人工林を県有林化し、樹齢一五〇年を超えるスギ、ヒノキの林立する巨木の森づくりを進めるものです。



水源の森

平成十七年度から十八年度にかけて、上齋原財産区、中国電力株式会社、おかやまの森整備公社が所有していた約八〇ヘクタールの森林の県有林化を行いました。

十九年度以降は遊歩道、案内看板の設置などの施設整備や、間伐などの森林整備を行い、将来は体験学習や憩いの場として提供する予定です。

森林公園では天然林を、水源の森では人工林の良さと美しさを実感していただくことを期待しています。

2 ゆめ・みらい・おかやまの森づくり推進事業

森林を適切に維持、保全するためには、県民の幅広い理解と協力を得て「県民参加の森づくり」を進めていく必要があります。このため、ドングリポット苗木づくり



植樹のつどい

から、植樹、保育のつどいの開催等、県民の直接参加による森づくりを推進しています。

「県民参加の家族の森づくり」は、今年度でドングリポット苗木十二万本の植樹が達成される見込みです。

また、森林ボランティア団体の組織強化や、指導者の育成にも取り組んでおります。



森林ガイド養成研修

森林教室や林業体験イベント等の企画、立案から実行までを行う講師やスタッフとして活動する「森林ガイド」は、養成研修を実施し、「美しい森ガイド」と合わせて百名を認定しました。

今後、各地での活躍が望まれます。

（林政課 おかやまの森づくり班）

「木とふれあう環境づくり 推進事業」

県産材の適切な利用は、林業と木材産業の活性化を通じて森林の整備に貢献し、県土の保全や水源のかん養などといった森林の持つ多面的機能の発揮に寄与しています。

1 おかやまの木でつくる快適環境整備促進事業

岡山県では、人と環境にやさしい木材を使った快適環境を創出しようと、公共施設や学校等といった普及・展示効果の高い施設における県産材を利用した内装の整備や木製用具の導入について、必要な経費の一部を助成しています。

平成十七年度には幼稚園や学校など十一カ所での事業が取り組まれ、県産材によるフローリングや腰壁の整備、木製の机・椅子の設置等により、木独特の風合いが生かされた快適な教室に生まれ変わっています。

なお、今年度も引き続き、学校や公園施設など九カ所で実施しています。

2 晴れの国木のぬくもりとやすらぎの場提供事業

多くの人に、森林からの贈り物として木のぬくもりとやすらぎの場を提供し、木材の良さを実感してもらうため、県産材をふんだんに使用したベンチを製作・設置しています。

ユニバーサルデザインにも配慮した意匠を公募して製作したもので、十七年度には公民館や公園など七四箇所に一三〇基を設置しました。「木の温かみを感じられ、座り心地もとても良い」と利用者からも好評を得ており、今年度にも保育園や小学校など六五箇所に一三〇基を設置しています。



県産材を使った木製机・椅子



県産材ベンチ



岡山県では、これらの取組等を通じて、日常生活の中で木材に触れられる機会を提供しています。県民の皆さんが木材の良さを実感され、県産材を生活の中に取り入れていただけるよう、今後ともさまざまな取組を進めていきます。（林政課 木材需要拡大推進班）

普及情報

「林業の税知識」

三月の確定申告の時期が近づいてきました。

今回は多少マニアックな還付申告や損益通算についてお話しします。

一 還付申告について

確定申告を行う必要がない者（給与所得者等）で、源泉徴収された税金や予定納税をした税金が納め過ぎになっている方は、還付を受けるための申告（還付申告）をすることができます。

還付申告はその年の翌年の一月一日から五年間できます。（例えば平成十六年に山林被害があった場合、還付申告期限は平成二十一年十二月三十一日までです）

二 損益通算について

① 損失額は他の所得と損益通算ができます。

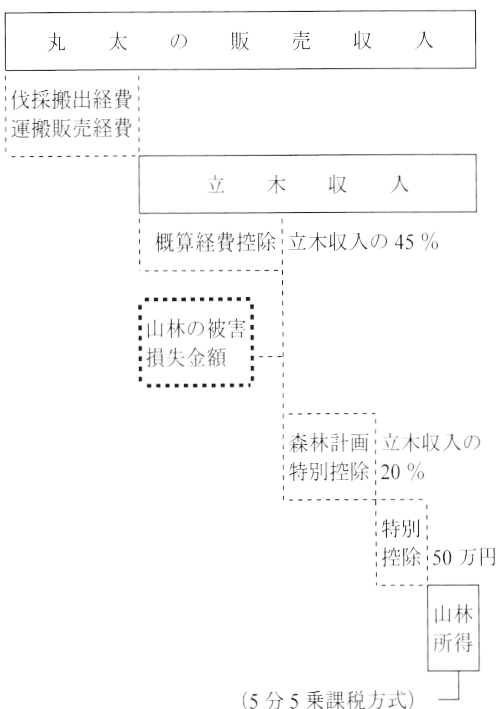
その年に山林の伐採、譲渡による所得がなく、損失額を必要経費として山林所得を計算した結果、赤字が生じた場合には、他の所得（利子配当事業給与等）からその赤字分を差し引くことができます。

② 損失額が他の所得でも引ききれない場合には繰越控除ができます。

損益通算の結果、赤字となつて、その損失の金額がその年に控除しきれない場合、残額については、翌年以降三年間にわたり繰越控除ができます。

なお、具体的な取扱いについては、必ず最寄りの税務署に確認してください。（林政課 林業普及指導員）

（参考）山林所得金額の計算方法



普及指導最前線

「森林再生のつどい」

の開催

高梁普及指導区

一 はじめに

平成十六年の台風第二十三号により県内は未曾有の被害にみまわれ、高梁市においても約三十九%の風倒木被害が発生しました。こうした中、現状を放置すれば、森林の持つ公益的機能の低下に加え、二次災害の発生が危惧されるため、被害地の早期復旧が急務となりました。このため、地元住民等をはじめとした森林復旧ボランティアによる「森林再生のつどい」を開催したので紹介します。

二 内 容

平成十八年十一月十一日に旧備中町平川地内の風倒木被害地において、地元をはじめ倉敷市、新見市などから森林の再生を願う家族連れなどのボランティアがつどい、ヤマザクラとヤマモミジの苗木計八百本を植栽しました。

ボランティアは公募により行い、百十二名が集まりました。植栽に先立ちNPO法人「ふれ

あいの里・高梁」の小見山理事長や地元代表等によりソメイヨシノの記念植樹が行われました。心配された空模様でしたが、幸いにも植栽中は雨も降らず〇・三%の植樹予定地に手際良く苗木が植えられていきました。

三 おわりに

今回の「森林再生のつどい」で植栽された面積は風倒木被害地のごく一部にすぎませんが、今後この「つどい」がきっかけになり、他の被害地においても森林再生の気運が高まり、復旧が進んでいくことを期待しています。



（林業普及指導員 近藤和夫）

「風倒木を彫刻に」

チエンソーカービング研修会

津山普及指導区



鏡野町の林業研究グループ（七グルーブ）は林業技術の向上と各グルーブの交流を深めるため、年に一回研修会を開催しています。今年は、平成十八年十月十八日奥津湖総合案内所「みずの郷奥津湖」でチエンソーカービングの研修会を開催しました。

美作國チエンソーカービングクラブの片岡伸吾氏他五名を講師として、参加者五十人が六グルーブに分かれて、フクロウやクマ等の彫刻をチエンソーで製作しました。

普段、仕事でチエンソーを使っている参加者も、木を切り倒すようにはいかず「難しいな～」と悪戦苦闘したものの、「丸太の周囲を回りながら」徐々に形を整え出来上がる彫刻に、講師の助言も得ながらフクロウやクジラなど思い思いの作品を完成させました。

この交流研修会は、一昨年の台風二十三号による風倒木や間伐材の有効利用を図ることを目的に開催し、昨年は、木製ベンチやテーブルの製作を行い、国体会場に設置しました。

今回、出来上がった作品は、同施設に展示して木材の良さのPRに努めています。



（林業普及指導員 菅野章宏）

木材の利用促進

治山事業における木材利用

どうして治山事業で木材を

県土の約七割を森林が占めていますが、その内の四割は人工林で、木材価格の低迷や木材需要の減少によって、間伐などの適正な施業が行われない森林が増加しています。

これらを解消するため、木材需要の拡大を通じた森林整備が緊急の課題となっており、治山事業では、より一層の木材利用を進める取り組みを行っています。

どんな所で木材を

自然の回復力による森林の復旧を、木製構造物で手助けしていくという考え方に立って、次の点に注意して適材適所の木材利用を行っています。

一 腐朽しても差し支えないもの
二 一定期間経過後であれば、腐



木製残存型枠

朽してもいいもの

三 腐朽しては困るので、交換を前提とするもの

四 腐朽しては困るので、防腐処理を確実に行うもの

どのくらい木材を

治山事業における木材の利用量は、「農林水産省木材利用拡大計画」により、現状（平成十一年度から十三年度の平均）の二倍程度とする目標が掲げられています。

岡山県の目標利用量は、平成十七年度は一、二五四立方メートルであり、これに対して実績は一、三〇三立方メートルで、目標値を上回ることができました。

どんな形で木材を

木材を利用している主な工種は、木製治山ダム、木製残存型枠、落石防止柵緩衝材、筋工、柵工、木製流路工等です。

今後、更に工夫して、新工種・新分野に取り組みしていきます。



木製治山ダム

（治山課 治山班）

地域でがんばっている人

「田枝泰治さん（新見市高尾）」

新見普及指導区

今回は、新見市千屋実に本社のある田枝建設株式会社代表取締役田枝泰治さんを紹介いたします。

田枝さんは、建設業を営む傍ら、山林経営も行っています。

同社のグループ内には、林業部門の創山林業（富岡義社長）があり、初代社長の田枝富久松氏が「建設従業員の失業対策と将来、山林を活用して欲しい。」との思いで設立し、現在、山林七三〇ヘクタールを経営・管理しています。

田枝さんは、「伝統技術を活かした健康住宅を建築できないだろうか？」という思いから、平成十六年度から新月伐採した木を使用し、自然素材を適材適所に活用した「新月の家」の建築・販売を行っています。

同氏が行っている新月伐採は、冬期の下弦月から新月に至る約七日間（切り旬）にスギ・ヒノキ五〇年生以上の立木の伐採を行い、スギの場合は、葉枯らしを三ヶ月以上行います。そして製材後、時間をかけて天然乾燥された材を使

用して建築された住宅を「新月の家」として、自社ブランドにしています。

平成十八年十一月十九日に新見市の山林で「新月祭」が開催され、岡山・倉敷方面から約八十名の方の参加がありました。また、倉敷で行われた完成見学会も好評でした。

田枝さんは「将来は新見の伐採木は全て「新月伐採」で行い地域のブランド化として、製材も含めた職人（匠）の育成のため新見地域の林業を盛り上げていきたい」と言われており、今後もなお一層のご活躍が期待されています。



「新月祭」で話をされる田枝社長

（林業普及指導員 築山良昭）

研究だより

きのこ栽培の防虫方法

岡山県林業試験場

研究員 藤原 直哉

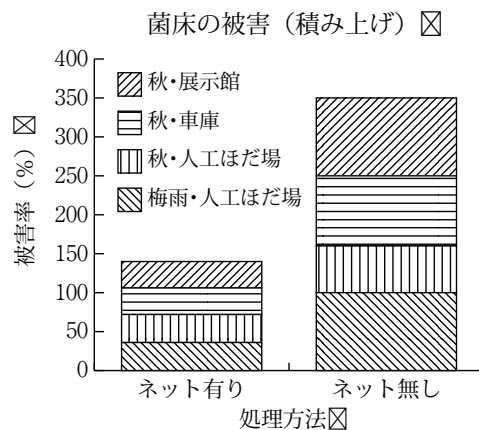
一 はじめに

今季は暖冬と予想されていますが、やはり鍋ものというご家庭も多いのではないのでしょうか。平成十八年十月一日から、生シイタケの販売を行う場合、栽培方法の表示が義務化され、消費者は「原木」「菌床」かを選択できるようになりました。皆さんはどちらを鍋に入れますか？

二 きこの虫害と対策

きのこ栽培で厄介な問題は、虫害です。具体的には、成虫が原木や菌床、子実体に侵入したり、産卵して幼虫が孵化するなどの被害があり、多くの生産者から困惑の声が寄せられています。シイタケの菌床栽培では、キノコバエ類、シイタケオオヒロズコガの被害が顕著で、原木では、それに加えてキノコムシ類、カミキリムシ類、トビムシ類、ナメクジ、カタツムリの被害があります。ヒラタケの

原木栽培では、キノコバエ類に寄生するセンチユウ（線虫）のごぶ付着の相談があります。自然栽培では農薬の使用を極力避けるため、劇的な防除方法はありませんでした。しかし、林業試験場で防虫ネットをウスヒラタケの菌床栽培に利用したところ、キノコバエ類の被害は約1/3に低減され、防除に大きな効果があることが判りました（左図）。



また原木シイタケ栽培では、種菌接種後の本伏せ期間（五～十月）中に防虫ネットではほだ木全体を被覆したところ（写真）、シイタケオオヒロズコガの被害をほとんど受けないことが確認されました。近年では、害菌の感染予防と、収量増のため、ほだ化の早い、お

がくずを固めた種菌が使用されています。しかし、この種菌は虫害に弱く、時には接種した菌体が虫に食べられて無くなることもありました。



図 伏せ込み状況

農薬メーカーから、シイタケオオヒロズコガに対しては農薬が販売され、一時の混乱状況は治まりました。防虫ネットは、種類を問わず多くの飛来昆虫を効果的に防除できるため、農業分野では良く採用されています。欠点として、資材費が多少掛かることと、風に飛ばされやすいこと、通気が低下することが挙げられます。原木シイタケ栽培に於いても、ほだ場の環境によってはトリコデルマ等の害菌が多くなる恐れもあります。そこで、網目一ミリのネットを粗

朶で押さえ込み、乾燥地に伏せ込んだところ、害菌の発生はごく僅かでした。冬期間発生を系統を使用したため、一月頃から発生してきたシイタケには、虫害は認められませんでした。効果的な防虫方法として試していただきたい技術です。その他の虫害に対しては、以下の方法で対応しています。

【トビムシ】……降雨後シイタケに群がり、食べます。湿った腐植層に棲息するので、まず落ち葉を除去し、シート等で雨除けを設置すると死滅します。

【ナメクジ・カタツムリ】……落葉中に棲息し、シイタケを食べます。市販の忌避材等もあります。見つけ次第捕殺します。

【カミキリムシ類】……立木に入っていることもあり、初夏に成虫が脱出してきます。脱出後、見つけ次第捕殺します。

三 終わりに

消費者の安全志向は年々高まり、生産現場にもその対応を求められています。国内産が外国産と一線を画す上でも、より安全な栽培方法の普及が必要です。

他にも皆様の貴重な知恵や工夫がございましたらご教授下さい。

お知らせ

「森林経営インターンシップ
促進事業の実施について」

今春の勝間田高校三年生対象の高性能林業機械実習体験に続き、今秋、同高グリーン環境科二年生二十一名を対象に森林・林業関係への就業の相談説明会、企業等への視察訪問、二日間の就業体験が実施されました。

十月二十七日就業相談会では展示パネル等を使って「森林の力とそれを引き出す林業の役割」「森林から生産される木材の流通と利用」の講義を受けた後、木材共販所を見学しました。午後は、林業関連企業等四社を訪問し、仕事内容や求められる人材像の説明を受けました。

十一月九・十日の就業体験実習では、地域の森林林業関連企業等十一事業所で実際の仕事を体験し、実社会で働く厳しさの一端を認識しました。今回の体験が林業関係企業等への就職につながって行くことを期待しています。

最後に、事業の実施にご協力をいただいた関係各機関、企業の皆様方に心からお礼申し上げます。

(林政課 普及指導班)

「岡山県林業試験研究発表会」
の開催について

岡山県林業試験場では、林業関係の方々をはじめ、多くの県民の皆様に研究の成果をお聴きいただき、森林・林業や試験研究に対する理解を深めていただくため、次の日程で研究発表会を開催します。

一、開催日時
平成十九年二月十五日(木)

十三時三十分から十六時まで
二、開催場所
勝田郡勝央町植月中一〇〇一

岡山県林業試験場「森の館」
三、発表課題

- ・栗の新品種について
- ・簡易な伐採収支の予測方法について
- ・アカマツ林の省力的造成方法について
- ・きのこ栽培の防虫技術について
- ・松くい虫防除の天敵利用について

なお、出席を希望される方は、平成十九年二月五日までに、最寄りの県民局・支局の森林課までご連絡ください。

(林業試験場業務部)

森林病虫害等防除
推進員研修を実施

森林病虫害等防除推進員は、地域の自主的な防除組織のリーダーの養成を目的として、林業試験場において行う森林病虫害の防除に関する研修を受講された方のことで、平成九年度から平成十七年度までに一四名の防除推進員が誕生しています。

今年度の研修会は一月二八日から二日間の日程で行い、一七名が参加されました。

初日の午前中は室内研修を行い、松くい虫被害の発生メカニズムや防除対策の現状等についての講義を行いました。午後からの現地研修では、薬剤散布の実施や被害木を薪割機で割材し、マツノマダラカミキリの幼虫を観察したのち、移動式炭化炉での炭づくりを行いました。

二日目も現地研修を行い、松くい虫被害木の伐倒・玉切り、枝払いやチップパーでの破碎作業、林内作業車の操作を行いました。

研修生からは「今回の研修内容を地域での防除活動に生かした

い。その声も聞かれました。来年度も研修会を開催しますので、みなさまの参加をお待ちしています。



(林政課 森林保全班)

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

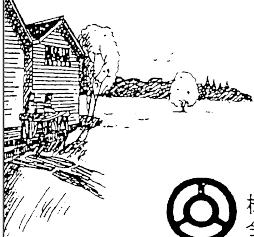
◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造元 森産業株式会社

岡山営業所 岡山市辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

森林林業関係イベント参加者募集中

開催日時	開催場所	イベントの名称	問い合わせ・申し込み先
H19. 1. 21 (日) 9:00~12:30	☒ 櫻の杜 (井原市門田町) ☒	櫻の杜塾 第81回杜の市 特産品等の販売等 ☒	〒715-2111 井原市門田町3892 櫻の杜塾会長 藤井直彦 TEL: 0866-62-5685
H19. 2. 17 (土) 10:00~14:00	☒ 高梁美しい森 (高梁市松山) ☒	高梁のマツ林・マツタケ再生のつどい マツ林の整備 木工教室 ☒	NPO法人ふれあいの里・高梁事務局 〒716-0038 高梁市浜町1285-1 TEL: 0866-22-1000
H19. 2. 18 (日) 9:00~12:30	☒ 櫻の杜 (井原市門田町) ☒	櫻の杜塾 第82回杜の市 特産品等の販売等 ☒	〒715-2111 井原市門田町3892 櫻の杜塾会長 藤井直彦 TEL: 0866-62-5685



緑あふれる環境づくり

 **株式会社 山都屋**

本社 〒703-8273 岡山市門田文化町2丁目11番51号
TEL(086) 272-2161 FAX(086) 272-2142
<http://www.harenet.ne.jp/yamatoya>
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材
防腐処理・住宅用プレカット資材

 **さんもく工業株式会社**

〒702-8045 岡山県岡山市海岸通2丁目6番3号
TEL086-262-0137(代) FAX086-262-0130




高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>

緑化用種苗器材
庭公園樹各種芝
造園設計・施工

 **株式会社 菁芳園**

岡山市東古松2丁目10-28
電話 222-4038

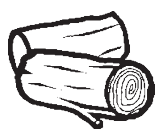
日本産原木しいたけ栽培を応援します

品質の信用が第一です

財団法人 **日本きのこセンター**



〈本部〉鳥取市富安1丁目84番地 電話 0857-22-6161
〈鳥取駐在〉鳥取市古郡家211番地 電話 0857-51-8132



林産物市況



木 材 (12月16日)

☐

単位：千円/m³

樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り	概 況		
杉	3 m	7～13	本220	—	本120	—	出荷材積
		14細	6	—	本120	—	6666666666約1,600m ³
		14～16	11	—	8	—	
		18～20	13	—	8	—	杉
	4 m	7～12	本280	—	本200	—	中目材 横ばい
		18～22	11	—	7	—	柱 材 横ばい
		24～28	11	—	8	—	小径木 横ばい
	6 m	18～20	15	—	10	—	
桧	3 m	7～10	本250	—	本120	—	
		11～13	本450	—	本120	—	
		14細	21.5	—	6	—	桧
		14～16	27	—	24	—	中目材 横ばい
		18～20	26	—	24	—	柱 材 横ばい
		22～24	23	—	20	—	小径木 横ばい
	4 m	26cm上	23	—	20	—	
		7～13	本470	▼	本200	—	
		14cm	27.5	—	18	—	
		16～18	29	—	26	—	
		20～22	22.5	—	20	—	
		24～28	23.5	—	20	—	
		30cm上	25	—	20	—	
		6 m	14cm	26	—	23	—
	16cm		36	—	34	△	△ 強気配
	18～20		36	—	34	△	— 横ばい
22cm上	25		—	20	—	▼ 弱気配	
松	3 m	18～24	8	—	5	—	
	4 m	24～30	12	—	7	—	

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値

乾しいたけ (10月20日) ☒

- ・ 出品数量 5.0 t
- ・ 価格高値 5,550円
- ・ 安 値 300円
- ・ 総 平 均 3,200円

銘 柄	価 格		相場
	平 均	高 値	
香 信 大	5,120	5,550	◎
香 信 中	4,080	5,300	○
香 信 小	3,200	4,200	○
小 間	—	—	—
香 信 山 成	3,190	3,460	○
バ レ 大	3,270	5,220	○
バ レ 中	2,870	4,330	○
スライズ	1,750	4,390	△
花 どんこ	—	—	—
上 どんこ	5,500	5,500	◎
並 どんこ	4,090	5,020	○
並並どんこ	2,960	4,600	○
小玉どんこ	970	1,860	□
山成どんこ	2,670	2,900	○
こ う こ	3,860	5,390	□
格 外	250	3,410	△

価格：円/kg

(相場)

強：◎ 保合：○ 弱保合：□ 弱：△

資料：岡山県森連椎茸共販所市況速報

製材 (12月下旬)

樹 種	寸 法	等級	区分	安値～高値
スギ	正角 3 m 10.5cm角	特等	G	228,000 ～ 35,000
		特等	K	45,000 ～ 55,000
	正角 3 m 12cm角	特等	G	28,000 ～ 35,000
		特等	K	45,000 ～ 55,000
ヒノキ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	70,000 ～ 75,000
	正角 3 m 12cm角	特等	K	70,000 ～ 75,000
ツ	平角 4 m 10.5 ～ 12cm × 15 ～ 18cm	一等	G	35,000 ～ 40,000 K D 60,000 ～ 65,000
マツ	正角 3 m、4 m 10.5cm角	特等	G	48,000 ～ 51,000
	平角 3 m、4 m 10.5 × 15 ～ 21cm	特等	G	48,000 ～ 51,000
北洋アカマツ	タルキ 4 m 3.8cm角	特等	G	54,000 ～ 56,000
ホワイツ	間柱 3 m 2.7cm × 10.5cm	特等	K	55,000 ～ 58,000

注：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。☒



「緑の募金」

ご協力をお願いします

募金期間☒

春のみどりの月間： **4月1日**～ **5月31日**☒

秋のみどりの月間：**10月1日～10月31日**☑

緑の募金で☒
ふせごう地球温暖化☒
21世紀は森林の世紀☒

(社)岡山県緑化推進協会☒
岡山市錦町1-8 TEL・FAX (086)221-9511

公園・街路修景施設の設計・製作・施工

その他木製品の注文承ります

水を活かす



株式会社 フォレスト

〒702-8058 岡山市並木町二丁目16番22号
TEL086-265-7350 FAX086-265-1841

緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計
森林整備の総合計画
治山・林道に係る用地測量
公共事業に係る保安林業務



社団法人 岡山県治山林道協会



本所 〒703-8233 岡山市高屋225-1
TEL (086) 271-3711
FAX (086) 271-3773
支所 〒708-0013 津山市二宮1849-2
TEL (0868) 28-9360
FAX (0868) 28-9363

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕 コニファー水和剤 〔幼令樹保護カバー〕 くわんたい
〔樹皮食い防止に〕 バークガード 〔野生草食獣食害防止〕 防獣ネット
〔クズ専用除草剤〕 クズノック・ザイトロン・ザイトロンフレノック
〔樹幹注入剤〕 センチュリーエース
(お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：原岸株式会社

TEL：086-465-7136

大同商事(株)大阪営業所

TEL：06-6231-2819

—— サンケイ の松くい虫防除薬剤 ——

多目的使用(空中散布・地上散布)が出来る

スミパイン[®] 乳剤

樹幹注入剤 **グリーンガード[®]・エイト
メガトップ[®] 液剤**

伐倒木用くん蒸処理剤

キルバー[®]

伐倒駆除剤

パインサイド[®] S油剤C,D

お問合せは 県森連・森林組合へ



サンケイ化学株式会社

大阪営業所
大阪市淀川区西中島4丁目5番地1号 新栄ビル ☎(06)6305-5871

請負業者☒
賠償責任保険☒
共栄火災☒

安心と信頼をお届けします。☒
☒

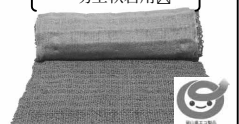
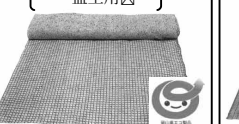
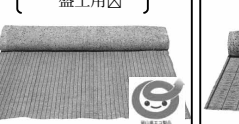
株式会社 ケンモリ☒

(岡山県森林組合連合会 出資会社) ☒

危険な伐採作業のための☒
安心のパートナーです☒

〒700-0866 岡山市岡南町2丁目5番10号☒
(TEL) 086-224-7343☒
(FAX) 086-224-2655

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。☒

間伐材利用厚層植生マット☒	間伐材利用植生マット☒	間伐材利用生分解型植生シート☒	間伐材利用植生シート☒	再生紙利用植生シート☒
グリーンフォーマット 〔切土軟岩用☒〕 	森樹郎マット 〔切土土砂用☒〕 	張りウッド® 〔盛土用☒〕 	ハリシバモック 〔盛土用☒〕 	ペパール® 〔盛土用☒〕 



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目☒
間伐材や古紙を有効利用した環境緑化資材です。☒

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社

<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>
東中国支店/津山市高尾573-1 TEL (0868) 28-0256☒
岡山営業所/岡山市横井上1328-2 TEL (086) 294-1000

“ 備えあれば憂いなし ” 森林国営保険

加入できる森林は

人工林であれば、樹種、樹齢、面積など制限なく加入できます。

加入期間は

1年単位でいつからでもご希望の年数を加入できます。

保険金が出るのは

契約された森林が火災、風害、水害、雪害、干害、凍害などにより損害が出たときに、森林所有者に保険金が支払われます。

★森林国営保険についてのご相談は
もよりの市町村、森林組合または県民局・支局森林課の窓口へどうぞ。

●岡山県農林水産部治山課 電話番号 086(224)2111 (代表)
086(226)7455 (直通)

林声

平成十九年一月一日(三九一号)

編集 岡山県庁林政課内
発行人 岡山県林業改良普及協会